

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	庭園学						授業形態		講義	
科目コード	231400	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	牧田 直子								ICT活 用	○
授業概要	本授業では人と緑の関係性、まちづくりにおける緑とデザイン、人間の生活の基本となる住環境のあり方、現代社会におけるこれからのガーデンの役割、マーケティング、アイデアの発想方法をなどを学習する。 また、緑化空間を知るうえで重要となるスケール、法規などを学習する。 エクステリアプランナー資格（2級）取得に対応。 住宅関連業界、コンサルティング業界で20年以上勤務し、戸建て住宅、分譲地等において、主にマーケティング業務に携わった経験を持つ教員が、実務経験から得た内容や業界の動向など最新情報や実例を提示しながら講義する。									
関連する科目	植物に関する講義、花卉園芸総論、樹木学を受講し、植物に関する基礎知識を同時に得ることが望ましい。 庭園学演習（設計）、造園ガーデニング実習Ⅰ（施工）と併せて履修を勧める。									
授業の進め方 と方法	授業では、アクティブラーニング型と座学型を併用する。 アクティブラーニングについて 提示されたテーマについて、背景や経緯、問題定義や疑問点を話し合うなど、グループディスカッション、アイデア想起、プレゼンテーションなどを実践する。 ICT活用について 本授業の専用ノート作成についてはPCを使用しても構わない。講義中のネット検索等、ノートPCの持ち込みを可とする。 座学型ではエクステリアプランナーとしての基礎学をテキストに沿って行う。 パワーポイントで実例を挟みながら解説を行う。 メモをとり本授業専用のノートを作成する。									
授業計画 【第1回】	1. 造園における未来を考える 各々で造園分野でのキャリアプランを作成する。 造園業界について解説する。 （アクティブラーニング）									
授業計画 【第2回】	2. 造園空間の計画コンセプト5W1HとPDCA 造園空間の計画に必要なコンセプトの考え方、コンセプト作成の手法について学ぶ。 アイデア想起を行う。 （アクティブラーニング）									
授業計画 【第3回】	3. 造園家とその作品 自身が好きな庭園や造園家について調べ、なぜ美しいのかなぜ評価できるのかを発表してもらう。 （アクティブラーニング）									
授業計画 【第4回】	4. 造園空間のありかた、とらえ方、考え方 過去の園芸博の作品を見て講評してみる。 園芸博で求められるものは何か、庭園空間をどのように活かしていくべきかを考え、グループでコンセプトを作成する。 （アクティブラーニング）									
授業計画 【第5回】	5. まちづくり、法規（エクステリアプランナー2級対応） 街並みやまちづくりの考え方と住宅建築に関する法規について学ぶ。 テキストを参照する									
授業計画 【第6回】	6. エクステリアのプランニング（エクステリアプランナー2級対応） プランニングのプロセスやエクステリアを構成する要素について学ぶ。 テキストを参照する									
授業計画 【第7回】	7. 構成部材（エクステリアプランナー2級対応） エクステリアに用いられる構成要素に関連する材料とその特徴ついて学ぶ。 テキストを参照する									
授業計画 【第8回】	8. 植栽（エクステリアプランナー2級対応） 庭園植栽について学ぶ。 ナチュラルスティックガーデンの植栽技法、ハーブの効能なども解説する。									
授業計画 【第9回】	9. 原価管理と工程管理（エクステリアプランナー2級対応） 積算について学ぶ。積算の練習問題を行う。また工程管理計画の作成方法を学ぶ。 （アクティブラーニング）									
授業計画 【第10回】	10. 造園とマーケティング（販売促進活動とコピーライティング） ものを販売するための仕組みや手法について学ぶ。 実際にコピーライティングを行う（アクティブラーニング）。									

授業計画 【第11回】	11. 日本庭園の形式と様式 日本特有の庭園の形式や石組み、西洋庭園にみる庭園の要素などについて学ぶ。
授業計画 【第12回】	12. 造園空間の活用から地域活性化を考える 1 事例（オープンガーデン、コミュニティガーデン、ガーデンツーリズム）を解説する。 これからの庭園・ガーデンのありかたについてグループディスカッションを行う。 （アクティブラーニング）
授業計画 【第13回】	13. 造園空間の活用から地域活性化を考える 2 地域活性化につながるこれからの庭園・ガーデンのありかたについてグループディスカッションを行う。 結果をまとめて発表する （アクティブラーニング）
授業計画 【第14回】	14. 総括 造園空間はどうあるべきか、どういう人材であるべきか、これからの造園界について再考する。 （アクティブラーニング）
授業計画 【第15回】	15. エクステリアプランナー 2 級試験対策（エクステリアプランナー2級対応） エクステリアプランナー 2 級試験の過去問を解いてみる。内容と解答を解説する。
授業の到達目標	造園空間の本質や特質、利活用、法規、住宅市場に関する基礎知識、住宅庭園（エクステリア）の設計や提案に必要なアイデア想起力、マーケティング力、プレゼンテーション力を習得し、エクステリアプランナー 2 級レベルの知識を得ることを目標とする。 また、造園空間、主にガーデンを通し、持続可能なまちづくり・地域づくり・地域の資源を生かした産業づくり等、真の地方創生を担うイノベーション人材、ガーデンの新しい利活用を検討し、グローバルな視点を持ちつつ地域の産業の活性化を担う人材を目指すものとする。 【専門分野の知識・理解】 また、知識や考え、実例をまとめ発表したり記述する基礎力を習得も目指します。 【専門分野のスキル】【課題発見・分析・解決力】【プレゼンテーション力】
学位授与の方針 （DP）との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	テキストを熟読し関連するキーワードや専門用語について調べる（毎回授業前に30分程度）。
授業時間外学習【復習】	授業でとったメモ等をまとめなおし、ノートをきちんと作成する（毎回授業後に30分程度）。
課題に対する フィードバック	提出物の返却時に問題点を指摘。 ノートをチェックを行う。
評価方法・基準	記述試験（ノート持ち込み可）80%、提出物や発表20%
テキスト	第11版 エクステリアプランナー ハンドブック/エクステリアプランナー・ハンドブック編集委員会（著）3,850円（税込み） ネットや書店で購入可能。古いものでも使用できる。図書館にも貸出用がある。
参考書	
備考	本科目は令和7年度からスタートする「SPARCプログラム」の対応科目（ブレ開講）となっているため、履修者には最終授業終了後にアンケートに回答してもらう。 エクステリアプランナー2級合格者実績 2023年度2名